

製品名: T2R46 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab18572**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | ウサギポリクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,ELISA |
| 反応性 | ヒト、ラット、マウス |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | ポリクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50% グリセロール、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|--------------------------------------|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000 |
| 分子量 | 33kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|----------------------------------|
| 遺伝子名 | TAS2R46 |
| 別名 | |
| 遺伝子 ID | 259292.0 |
| SwissProt ID | P59540 |
| 免疫原 | ヒトタンパク質由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 160~240 |

背景

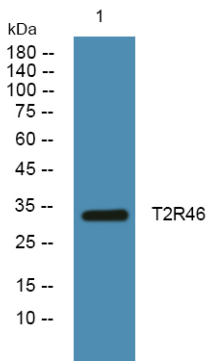
TAS2R46 は、大規模な TAS2R 受容体ファミリーに属します。TAS2R は味覚受容体細胞の表面に発現し、G タンパク質共役セカンドメッセンジャー経路を介して苦味の知覚を媒介します (Conte et al., 2002 [PubMed 12584440])。TAS2R の詳細については、MIM

604791 を参照してください。[OMIM 提供、2009年9月],機能: 苦味の知覚に役割を果たす可能性のある受容体で、ガストデューションに関連しています。胃腸内容物の化学組成を感知する役割を果たしている可能性があります。この受容体の活性は、 α ガストデューションを刺激し、PLC- β -2の活性化を媒介し、TRPM5のゲーティングにつながる可能性があります。、その他: ほとんどの味覚細胞は、限られた数の苦味化合物によって活性化される可能性があります。個々の味覚細胞は苦味刺激を区別することができる。、類似性:Gタンパク質共役受容体 T2Rファミリーに属する。、組織特異性:舌の味覚受容体細胞のサブセットで発現し、ガストデューション陽性細胞でのみ発現する。、

研究分野

味覚伝達;

画像データ



SH-SY5Y細胞溶解液のウェスタンブロット分析、T2R46ウサギポリクローナル抗体を1:1000に希釈し、4°で一晩